

PUF についてのサーベイ論文（仮）

岡野 舞子[†]

Survey paper of PUF()

Maiko OKANO[†]

あらまし フィジカリー・アンクローナブル・ファンクション（PUF）とは、主に半導体技術を用いて作られた集積回路を大量生産した際に生じる、制御不能な製造ばらつきを利用してその個体にランダムな関数を作る技術のことである。この技術は、個体の識別に用いることで模造品の作成を防ぐだけでなく、制御不能な性質を利用することで暗号アルゴリズムに組み合わせて使うことも期待されている。本稿では PUF について調査した内容を、その発展の歴史を踏まえて述べる。（全部書き終えたら、ちゃんと書き直す）

キーワード 暗号ハードウェア、ハードウェアセキュリティ、PUF

1. はじめに

2. PUF とは

2.1 PUF の概要

2.2 歴史

2.2.1 物理的一方向関数（POWF）

2.2.2 半導体製の PUF

2.3 PUF に求められる性質

2.3.1 個体

2.3.2 チャレンジ

2.3.3 試行とレスポンス

2.4 PUF に求められる性質

特にセキュリティの観点から重要なものとしては、再現性、ユニーク性、耐クローン性の 3 つが挙げられる。

2.4.1 再現性

2.4.2 ユニーク性

2.4.3 耐クローン性

他にもいくつかあるので紹介する。

2.4.4 予測困難性

2.4.5 一方向性

2.4.6 耐タンパー性

3. PUF の分類

4. 問題点や攻撃

5. まとめ

文 献

[1]

[†]

Abstract

Key words Physically Unclonable Function